

平成31年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	横田宏樹
全体計画						経費区分		-		内線	3412
事務事業名	11707 農業施設整備事業										
所 属	150100 産業振興部・農林課										
施 策	05012100 農業の活性化										
予算科目	会計	01 一般会計									
	科目	060102 農林水産業費・農業費・農業総務費									
	事業	060000 農業施設整備事業									
事業目的						事業概要・効果					
農業施設を適正に維持管理することで、農業振興に資する。						田の神揚水機場は昭和53年に建設され30年以上経過しており、施設の劣化が激しく、最近では汲み上げ井戸内部構造の劣化により、内部が崩壊し地下水の汲み上げができなくなる状況にあり、機場の施設の修繕が必要となった。					

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
米子町生活改善センター耐震補強等工事 田の神揚水施設第4 機場修繕工事	田の神揚水施設第1 機場修繕工事 八木沢沖前田・沼目機場修繕工事 田の神揚水施設第2 機場修繕工事
平成29年度 実績	平成30年度 実績
田の神揚水施設第5 機場修繕工事	田の神揚水施中央機場配管修繕工事 田の神揚水施第2 機ポンプ交換修繕工事
平成31年度 予定	令和 2年度 予定

指標名	無					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成30年度 決 算	平成31年度 予 算
事業費		2,610	1,300
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		2,610	1,300
人員数(人)	正規職員	0.1	0.1
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	715.0	715.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	715.0	715.0
市民一人当たりの経費		0.1	0.0
総額		3,325.0	2,015.0

(単位：千円)

平成30年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	126	修繕料
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	2,484	田の神揚水施設修繕工事
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

平成31年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	1,300	修繕料
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	農業用用水の確保は農業を営む上で必要不可欠	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	大規模な改修はできないが必要最低限の修繕を行い施設の長寿命化を行う。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	必要最低限の修繕を行っている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

設置からの経年により、井戸機能や施設設備機能が弱まっている中で、安定的な用水確保は必要不可欠となっており、受益者からも施設維持への要望が強い。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
必要最低限の施設維持のための修繕を行っていく。		営農継続のため、必要な農業施設である。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	